

2013年度 第1四半期 決算説明資料



試作機 CNC立形複合研削盤
NVGH-9T

株式会社 太陽工機

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

第1四半期 決算概要

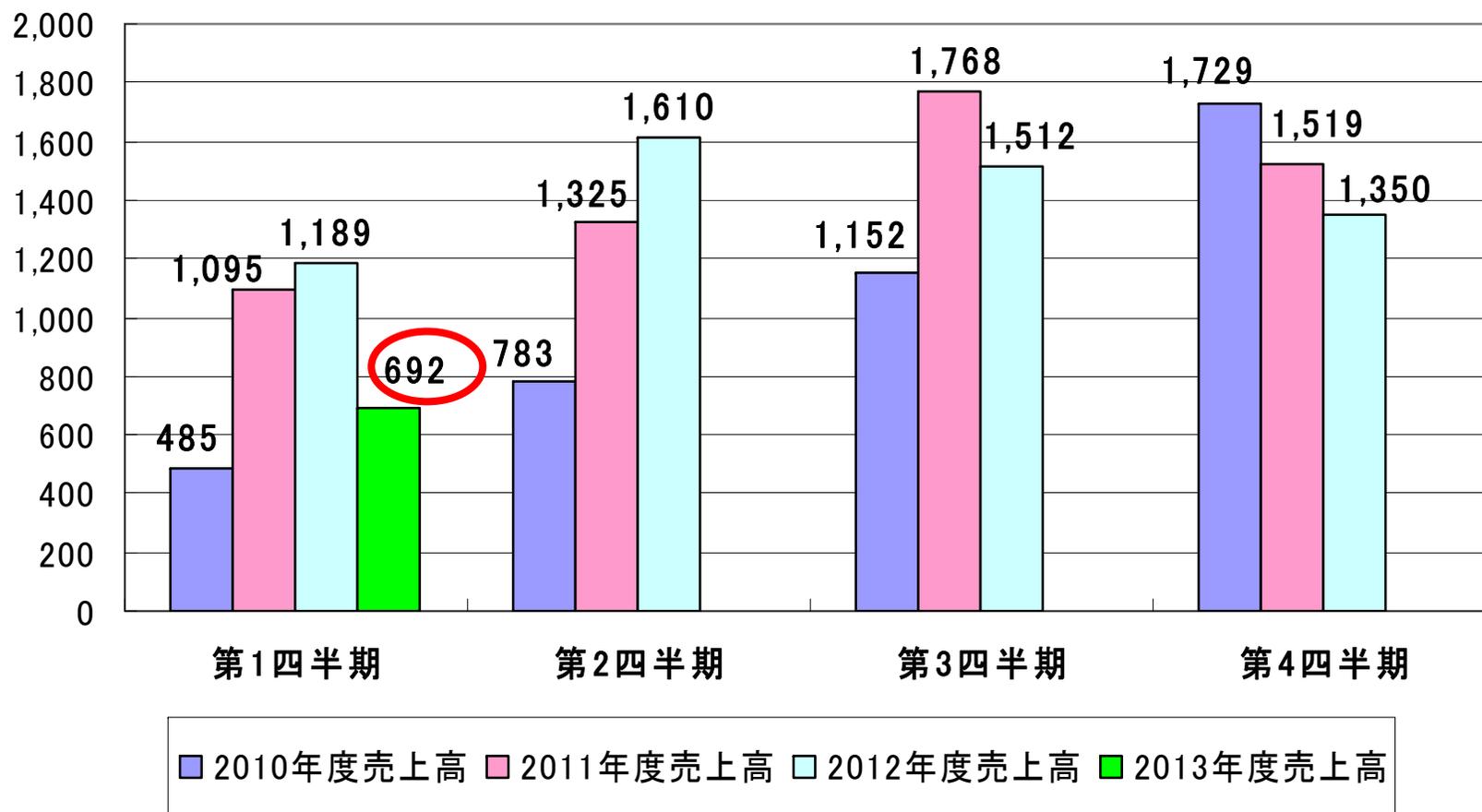
損益計算書 (P/L)

前年度後半からの受注の伸び悩みを受け、業績は一時的に悪化

(百万円)	2012年度 第1四半期	2013年度 第1四半期	
	実績	実績	対前年比
売上高	1,189	692	41.8 %減
営業利益	115	△ 93	—
(売上高比率)	9.7%	—	—
経常利益	107	△ 104	—
(売上高比率)	9.0%	—	—
税引前利益	107	△ 104	—
当期利益	102	△ 68	—

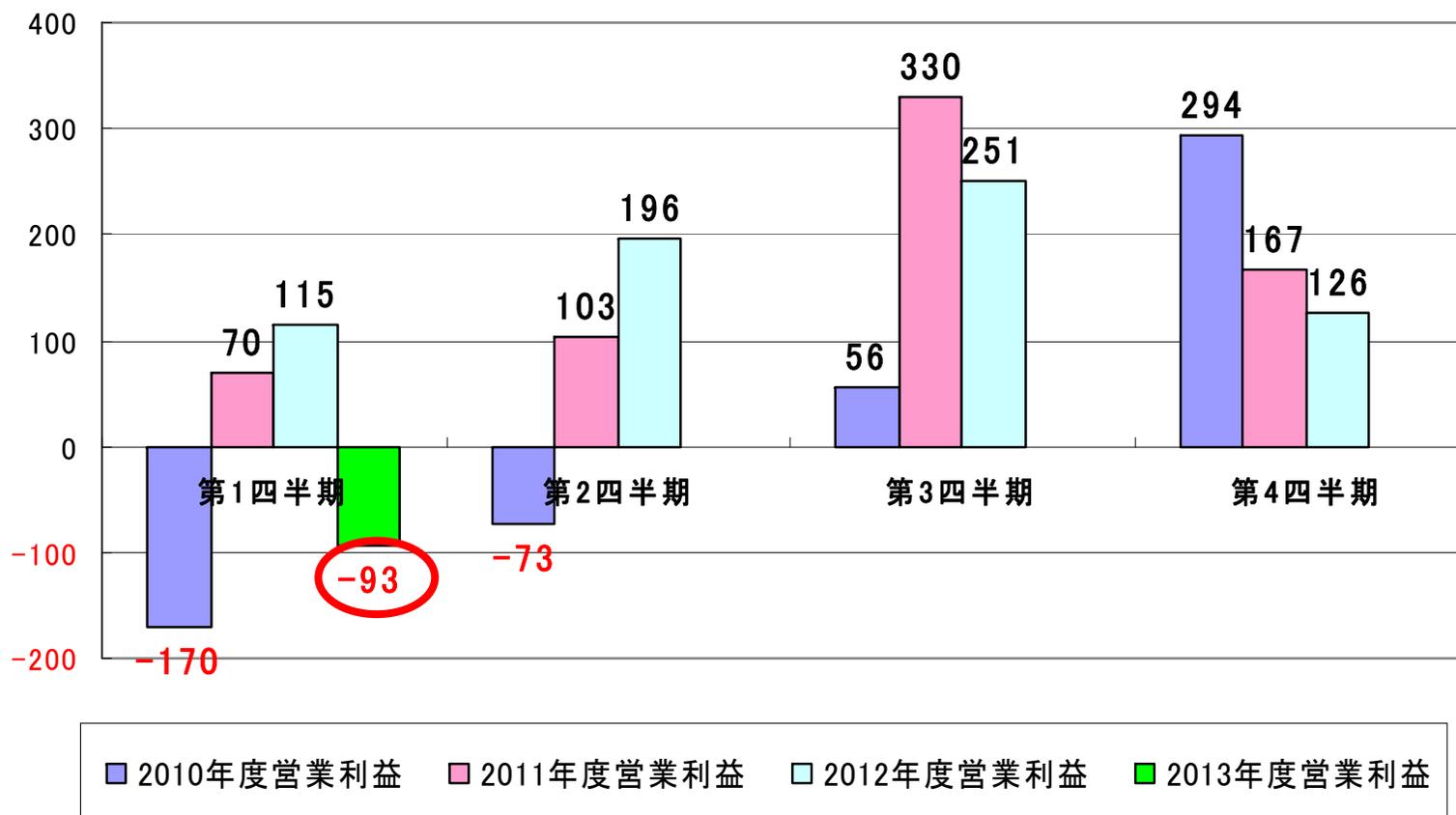
売上高(四半期別推移)

受注の鈍化及び納入時期の先送りにより、前年同期比41.8%減。



営業利益(四半期別推移)

売上の減少により、営業利益は赤字へ。第2四半期での黒字転換を狙う。



貸借対照表 (B/S)

(百万円)	2012年度			2013年度			(百万円)	2012年度			2013年度		
	3月31日実績	6月30日実績	増減	3月31日実績	6月30日実績	増減		3月31日実績	6月30日実績	増減			
資産の部							負債純資産の部						
流動資産	2,367	2,309	▲ 58	流動負債	485	533	48						
現金及び預金	296	283	▲ 13	買掛金	155	210	55						
売掛金	1,000	611	▲ 389	未払法人税等	43	2	▲ 41						
棚卸資産	901	1,198	297	製品保証引当金	45	32	▲ 13						
繰延税金資産	160	199	39	役員賞与引当金	18	-	▲ 18						
その他流動資産	9	18	9	その他流動負債	223	288	65						
固定資産	1,339	1,337	▲ 2	固定負債	815	800	▲ 15						
建物	793	784	▲ 9	リース債務	768	754	▲ 14						
土地	354	354	0	その他固定負債	47	46	▲ 1						
その他有形固定資産	142	148	6	純資産	2,405	2,313	▲ 92						
無形固定資産	6	4	▲ 2	株主資本	2,390	2,301	▲ 89						
投資その他資産	42	45	3	新株予約権	15	11	▲ 4						
資産合計	3,706	3,646	▲ 60	負債純資産合計	3,706	3,646	▲ 60						

原価率・販管費・株主資本比率

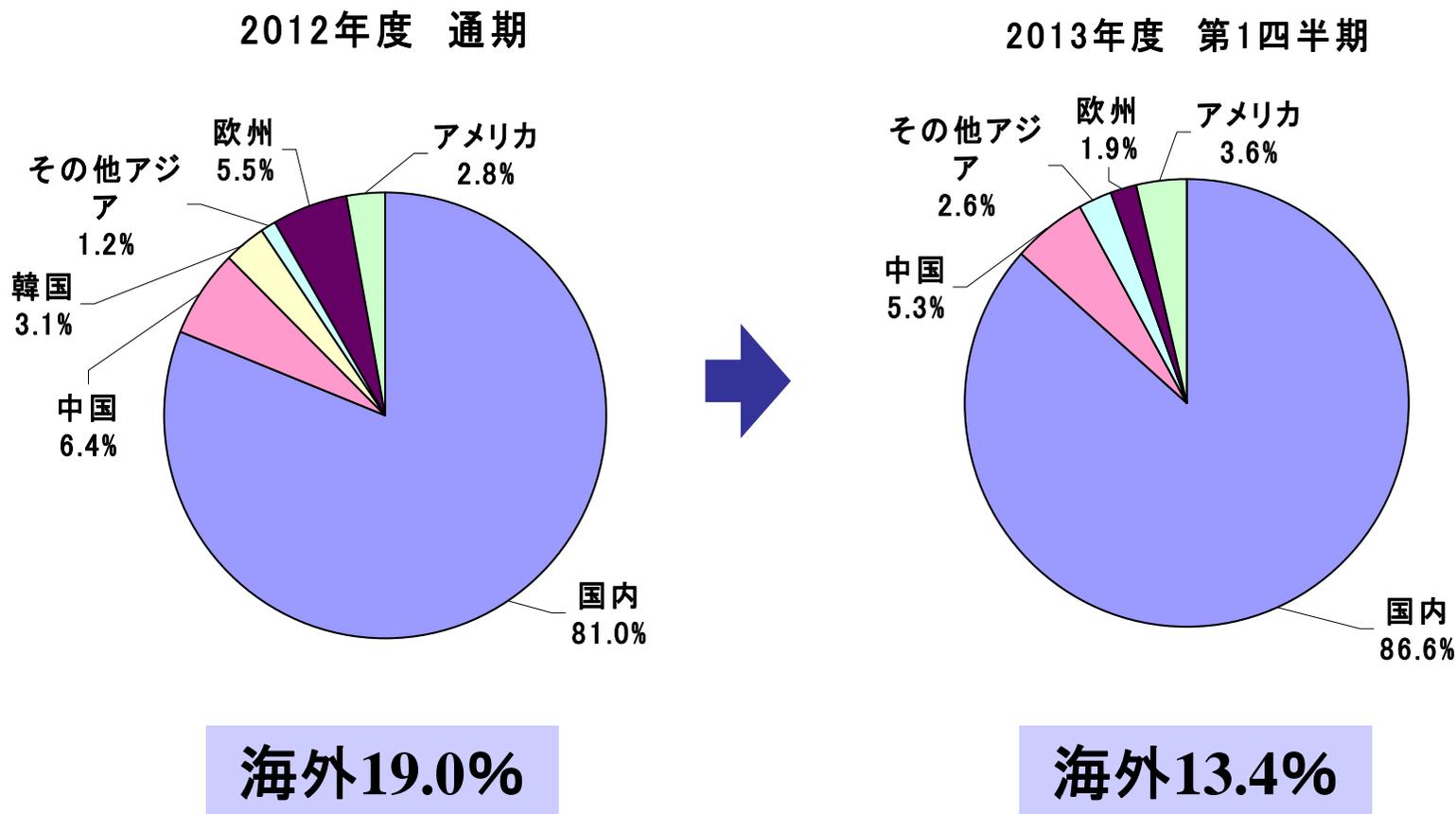
	2011年度 通期	2012年度 第1四半期 (会計期間)	2012年度 通期	2013年度 第1四半期 (会計期間)
売上高原価率 (下段は売上原価: 百万円)	70.0%	71.1%	69.7%	74.0%
	3,995	845	3,948	512
販売管理费率 (下段は販売管理費: 百万円)	18.2%	19.2%	18.1%	39.4%
	1,041	228	1,025	273
株主資本比率 (下段は株主資本: 百万円)	42.7%	47.6%	64.5%	63.1%
	1,634	1,710	2,390	2,301

回転期間

	2012年度	2013年度	
	第1四半期	第1四半期	増減
売上債権回転期間	1.91	2.65	0.73 ヶ月
棚卸資産回転期間	3.30	5.19	1.89 ヶ月
仕入債務回転期間	0.66	0.91	0.26 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	3.16	5.57	2.41 ヶ月
借入金回転期間	0.68	0.00	▲ 0.68 ヶ月

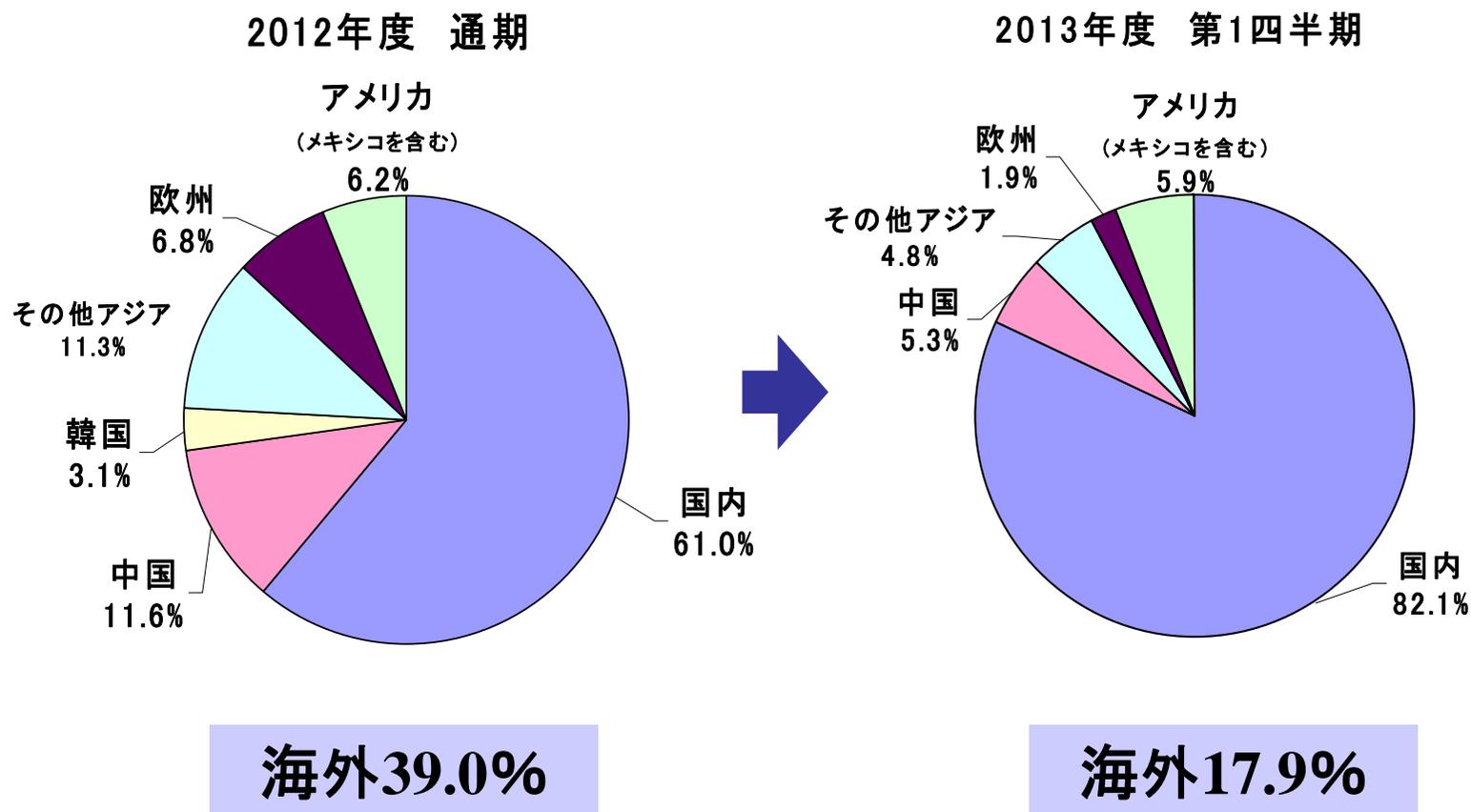
(顧客地域ベース)

- ・国内比率が増加。特に産業機械メーカーの需要の取り込みに成功。
- ・海外比率は減少したが、アメリカや中国、台湾の新規ユーザからの受注を獲得。



(据付地ベース)

- ・国内自動車関連企業の中国設置、
タイやインドなどのその他アジアへの設置は小休止。



今後の展開

今後の展開①

■マーケット開拓

➤ グローバル営業の強化

- ⇒・アメリカではジェットエンジン、建設機械、ベアリングなどの世界最大手のメーカへの納入実績をもとに、北米市場の開拓を図る。今期中にアメリカに営業拠点の設置を目指す。
- ・韓国、台湾、タイ、インド、メキシコなどの新興市場ではものづくりが活発化。新規ユーザ開拓を重点的に行う。
- ・中国・欧州では、営業拠点を軸に設備投資需要の掘り起こしを狙う。

➤ 国内市場の開拓

- ⇒・リピートユーザをフォローしながら、新規ユーザ開拓を重点的に行う。
- ・立形研削盤以外の横形複合研削盤、カム研削盤、円筒研削盤、ネジ研削盤などの新規ユーザ開拓を進める。
- ・メカトロテックジャパン(10月)への出展による拡販。

今後の展開②

■新製品の新規開発

- ・新小型立形研削盤の開発
現行のIGVシリーズの後継機として開発。
1つのプラットフォームで従来機のIGV-1Nから3NTをカバーリング。
- ・大型の高剛性機NVGHのシリーズ化。NVGH-9Tの開発。
静圧主軸、リニアモータ化など新技術の導入。
- ・Vertical Mateシリーズの機種拡大化。
- ・専用研削盤のネジ研削盤のシリーズ化。

■製品レベルの向上

- ・QCD(品質、コスト、納期)で他社を圧倒し、市場でのシェアを確固たるものにする。さらにお客様のニーズを取り込んだ製品開発に努め、お客様の生産改革に貢献し、お客様とともに成長する。

トピックス

プライベートショー（7月11日～12日開催）



- ・過去最高の1,000人を越えるお客様がご来場。
- ・計画を上回る受注・引合を獲得。

新規開発試作機

プライベートショーに出展



NVGH-9T

- ・CNC立形複合研削盤のハイスペックマシン
NVGHシリーズ
- ・エネルギー・ベアリング関連企業の
大型ワークの高精度・高効率加工を実現



SVG-3T

- ・CNC立形複合研削盤の小型機
SVGシリーズ
- ・自動車部品関連企業等の小・中型
部品の生産性の向上・量産部品の
高精度化を実現

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL :0258-42-8808

URL :<http://www.taiyokoki.com>